

世間話に見る江戸の場所イメージ
—18世紀末～19世紀初頭に集成された『耳囊』を事例にして—

山口ゼミ4年 伊勢野まどか

【研究目的】

例えば現代において怪談話が語られる際、その舞台は墓場やトイレ、病院など、ある程度の偏りが見られる。これは、人々がそれらの場所に対して、「怪異現象が起こってもおかしくない」という共通のイメージを持っている為だと思われる。これは怪談話のみならず、あらゆる世間話にも当てはまる可能性が高い。そこで、現在と場所の名称・位置に大きな相違が見られない江戸を中心に、世間話と場所が持つイメージとの関係について研究することにした。その際に有効な資料として、江戸時代の旗本・根岸鎮衛（ねぎしやすもり）が記した『耳囊』（みみぶくろ）という世間話集を取り上げる。本作品を選択した理由は、①話の量・種類が豊富②江戸を中心とした世間話が多い、③同一人物によって記された為、言葉の意味に統一性がある、④短期間に書かれた為、事物や土地の名称に劇的な変化が無い、⑤根岸鎮衛というコンテクストを特定し易い、という5点である。そこに記されている世間話の中から、①世間話の種類、②世間話の語り手、③世間話が語られる場所、についてそれぞれ分類する。それらを比較し、更に『耳囊』の著者を取り巻く生活世界の影響を加味した上で、江戸において世間話が語られる場所およびその場所が持つイメージについて考察していきたい。

【目次】

<p>第1章 はじめに</p> <p>第2章 使用資料とその周辺</p> <p style="padding-left: 2em;">第1節 『耳囊』について</p> <p style="padding-left: 2em;">第2節 著者・根岸鎮衛について</p> <p style="padding-left: 2em;">第3節 根岸鎮衛の生活世界</p> <p>第3章 世間話の内容と語り手の関係</p> <p style="padding-left: 2em;">第1節 世間話の種類</p> <p style="padding-left: 2em;">第2節 語り手の分類</p> <p style="padding-left: 2em;">第3節 語り手ごとにみる世間話の傾向</p> <p>第4章 世間話の種類と語られる場所の関係</p> <p style="padding-left: 2em;">第1節 耳囊に表出する地名</p> <p style="padding-left: 2em;">第2節 江戸朱引内の地名とその分布</p> <p style="padding-left: 2em;">第3節 場所ごとの世間話の種類と頻度</p>	<p>第5章 考察</p> <p style="padding-left: 2em;">第1節 浅草・吉原</p> <p style="padding-left: 2em;">第2節 本所</p> <p style="padding-left: 2em;">第3節 牛込</p> <p style="padding-left: 2em;">第4節 芝</p> <p style="padding-left: 2em;">第5節 神田</p> <p style="padding-left: 2em;">第6節 四ツ谷</p> <p style="padding-left: 2em;">第7節 両国</p> <p style="padding-left: 2em;">第8節 糀町・番町</p> <p style="padding-left: 2em;">第9節 世間話の少ない場所</p> <p>第6章 まとめと今後の課題</p>
--	--

【世間話の分類】

- ①奇談…幽霊や妖怪の話は含まない奇妙な話
- ②怪異…幽霊や妖怪に関する話
- ③靈驗…神仏のご利益などに関するもの
- ④英雄・豪傑…ある人物に関する英雄譚
- ⑤将軍家…将軍家の人々に関する逸話。主に将軍を称えるもの
- ⑥悲話
- ⑦人情話
- ⑧笑話
- ⑨機知…頓知の利いた話、機転を利かせた話
- ⑩教訓話
- ⑪まじない・奇法…日々の生活や病気の治療などに有効な、まじないや術など
- ⑫伝承・由来…物や風習などの由来、又はそれらにまつわる伝説・伝承などについての記録
- ⑬備忘録…ストーリー性が無い、単なる記録
- ⑭その他…上記のいずれにも当てはまらないもの

【結論】

①個々の語りの場所が持つ特徴

浅草…浅草寺を中心とした寺社集中地域

→「聖域」としてのイメージがあったため、「靈驗」が多数語られた

本所…江戸中期『本所七不思議』の成立

→不思議な現象が起りやすい場所として人々の間で認識されていたため、「奇談」「怪異」が語られた

吉原…唯一の幕府公認の遊郭

→「俗」なイメージがあったため、「靈驗」が語られなかった

両国…見世物小屋や様々な店が立ち並ぶ、典型的な盛り場

夏には両国橋から花火が打ち上げられ、見物客で賑わっていた

→人が密集する土地柄であったため、多様な世間話が語られた

番町…同じような生垣や塀の古びた家が並んでおり、誰がどの家に住んでいるのかは容易に判別出来なかった。

→鬱蒼とした雰囲気。「奇談」「怪異」が語られやすい雰囲気を持っていた

②世間話が多い場所に見られる傾向

- ・恒常的に人が密集している
- ・「境界性」を持っている

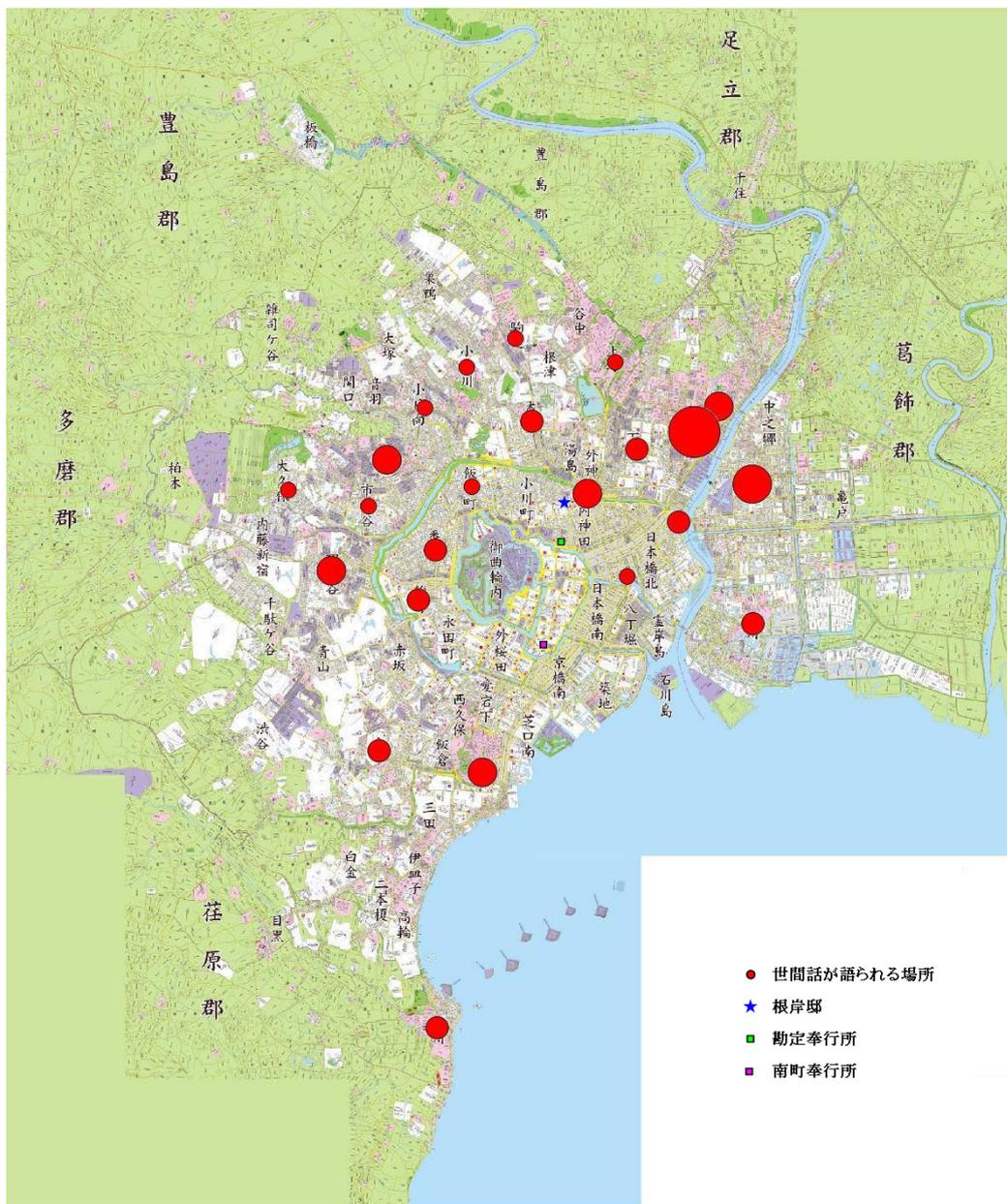


図1 世間話が多数語られる場所

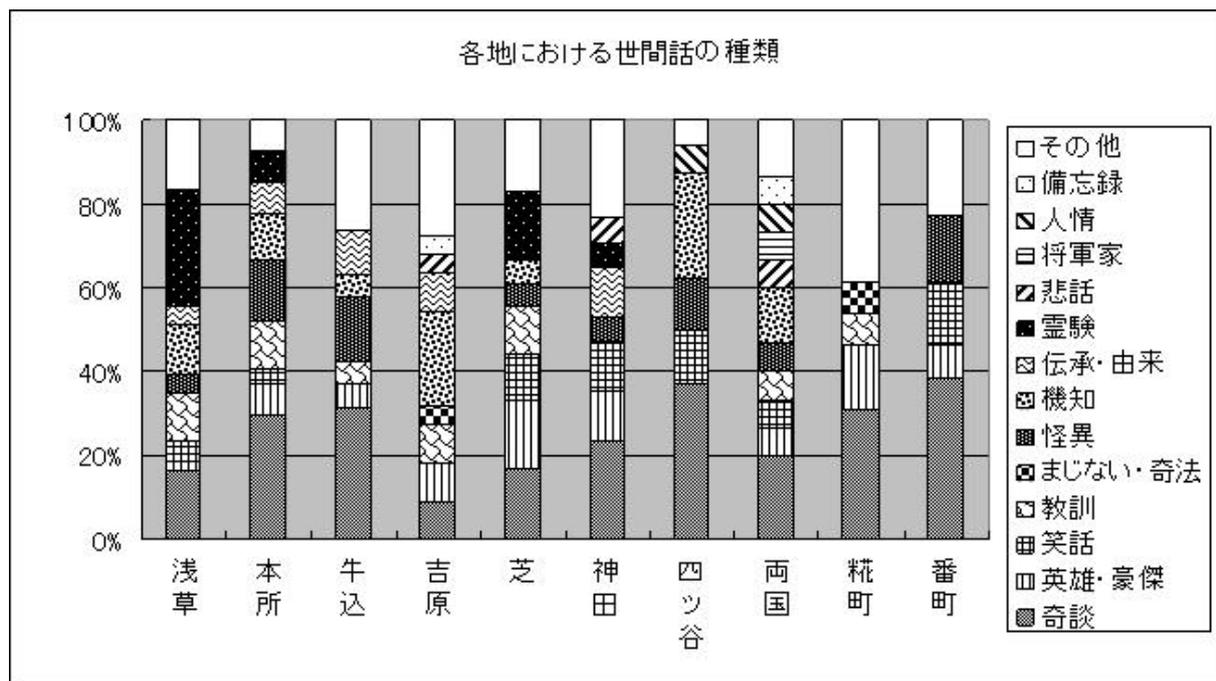


図2 各地で語られる世間話の種類

主要参考文献

- 根岸鎮衛／著、長谷川強／校注 1991『耳囊』 岩波書店
 根岸鎮衛／著、鈴木棠三／編注 1972『耳囊』 平凡社
 根岸鎮衛／著、鈴木棠三／編注 2000『耳囊』 平凡社ライブラリー
 石井良助 1989『江戸の町奉行』 明石書店
 笠間良彦 1980『江戸の司法警察辞典』 柏書房
 1995『江戸役人役職大事典』 新人物往来社
 今井金吾 1969『詳説 江戸名所記』 社会思想社
 西山松之助・他／編 1994『縮刷版 江戸学事典』 弘文堂
 岸井良衛 1986『江戸の町』 中央公論社
 祖田浩一 1999『江戸切絵図を読む』 東京堂出版
 新谷尚紀 『日本人の禁忌 (タブー)』 青春出版社
 2004『江戸明治東京重ね地図』 エーピーピーカンパニー